

ゼロカーボンへ 身近な取り組み

諏訪振興局など 茅野で「ミーティング」



県諏訪地域振興局と美しい環境づくり諏訪地域推進会議は29日、「ゼロカーボンミーティングin諏訪」を茅野市民館で開いた。基調講演と地域の実践者によるパネル討論を開催。家庭や事業所、地域

で行ける取り組みを紹介し、ゼロカーボン社会の実現に向けて行動の輪を広げた。会場とオンラインで同時開催し、100人以上が参加した。

＝2面に関連記事

講演で、建築環境工学を専門とする東京大学大学院の前真之准教授は、住宅の高断熱・高気密化を提言。「冷暖房などの設備でなく、建物そのもの『器』の性能を良くして

↑ パネル討論などで行動の輪

を広げた「ゼロカーボンミーティングin諏訪」＝29日、茅野市民館

ほしい」とし、省エネ住宅は環境や家計だけでなく、ヒートショック対策になって健康にも優しいとした。

「冬の長野県は寒いが、日射量がとびきり豊富。窓からの日射熱、屋根置き太陽光発電を生かさない手はない」と強調。省エネ建築で地域経済を活性化させ、住まいと地域の双方を「あたためる」必要性を説いていた。

パネル討論には、前諏訪商工会議所会頭でスワテック建設会長の岩波寿亮さん、野村ユニソンの金井亮一さん、県建築士会諏訪支部長の宮坂佐知子さんが登壇。信州大学院総合理工学研究科の2人も加わった。

岩波さん、金井さんは企業にとって脱炭素経営は欠かせない取り組みになっていると

報告。宮坂さんは「世代を超えて（脱炭素を）考えたり話したりする場や、若い人を交えて活動する場を設けていくのも私たちの役目」と述べた。
(鮎沢健吾)

温暖化を考える日

来月3日イベント

茅野市対策地域協

茅野市地球温暖化対策地域協議会は6月3日午後1時から、脱炭素のまちづくりに向けたイベント「地球温暖化を考える日2023」を茅野市民館で開く。東海大諏訪高校、市と共催。家庭での省エネなどを楽しみながら考えるイベント。同校科学部のサイエンスショーを楽しみ、協議会の発表を聞いた後、荒廃した未来の地球でごみ処理を行うロボットが宇宙へと飛び出す冒

険を描いた映画「ウォーリー」を鑑賞する。

入場無料。申し込み不要。来場者には参加賞を進呈。問い合わせは市ゼロカーボン推進室（電話0266・722101）へ。